



# 郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2024年4月30日

5月号

校長 安倍 武雄

## 学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。



始業式・入学式から早くも約一か月が経ちました。4月24日（水）には、1年生を迎える会が行われました。8：45。始まりの時間を待ちきれずにすでに3年生から6年生の子どもたちが体育館に勢揃いしています。まだかまだかとみんな気もそぞろになってくるころやっと1年生が2年生のお兄さんお姉さんに手を引かれて入場してきました。

会場は誰に促されるわけでもなく自然に大きな拍手に包まれました。エスコートした2年生にそっと聞いてみました。私「どんな感じだった？」子「1年生かわいかったよ」(そうでしょう！-私の心の声)「手が小さかった！」(ホント?あなたも大して変わらない…)「別に」(いやいや、そのニンマリした顔が満足そう!)と感想を教えてくださいました。



2年生から6年生までが、歓迎の言葉を1年生にプレゼントしました。リコーダーの生演奏もあったりして、なかなか手が込んでいます。



そして、1年生が「よろしくお祈いします！」とあいさつして会は終了です。最後は、6年生に手を引かれて退場です。

1年生にあとでお話を聞くと、私「どうだった？」子「楽しかった」「うれしい」「6年生とドッジボールしたい」…とそれぞれがお話してくれました。

これで528人の浜之郷小学校の子どもたちが全員揃いました。私は、お話の中で「528人全員がお友達になれると思う？」と聞きました。「なるる!」「うーん」「むりだな」と反応は様々でした。そして「先生はなれると思うんだけど、ちょっと頑張らなきゃならないことがあります。それは、友達を大切に思うということです。相手の気持ちをいつでもよく考えていくのは大変なことだけれど、それがあればみんなが友達になれると思います。」と続けました。一緒に過ごす仲間たちだからこそ、互いを大切にすることを忘れないで過ごしていきたいと思ひますし、私たちはそれを「授業を通して支えていかなければ!」と勝手に決意した「1年生を迎える会」でした。